

■生命保険の見直しポイントは大きく分けて3つ！

①保険に加入した目的がしっかりしているかどうか

②ご家族の状況を考えたうえで、保険料を払いすぎているか

③ご家族の状況を考えたうえで、保険金額は適切であるかどうか

①保険に加入した目的がしっかりしているかどうか

- ・付き合いで仕方なく保険に加入した
- ・就職時に保険に加入したものの、具体的にどんな保険に加入したのかあまり覚えていない
- ・家庭環境が変わっているものの、保険は今まで通りのものに入っている

⇒このような場合には、保険の見直しが必要といえる

②ご家族の状況を考えたうえで、保険料を払いすぎているか

- ・子育てが終了したものの、今まで通り手厚い定期保険に加入している
- ・何かあった場合にといい、特約などつけられるものはすべて加入している
- ・いざという時に備え保険に入ったものの、毎月の保険料を支払うのが大変

⇒このような場合には、保険の見直しが必要といえる

③ご家族の状況を考えたうえで、保険金額は適切であるかどうか

- ・適切な保険金額は、将来にわたって必要となるお金(家族の生活費や教育費、住居費など)から現在あるお金と今後入ってくる見込みのあるお金(遺族年金や配偶者の収入など)を差し引いた金額

⇒もし算出した金額よりも保険金額が小さければ、保障額を増やす必要あり

⇒もし算出した金額よりも保険金額が大きければ、保障額を減らす必要あり

- ①保障額が少ない場合
 - ・定期保険の上乗せや特約付加による対応
- ②保障額が多い場合
 - ・優先度合いの低い保険の解約
 - ・保険金額を減らす対応
- ③保険料の負担が重いと感じられる場合
 - ・必要性の薄い保険の解約
 - ・保険金額を減らす
 - ・延長保険や払済保険による対応

